（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 平成30年１月10日(水)　11時　～　12時40分 |
| 場所 | 上山信一事務所 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：上山特別顧問、安川特別参与  (職員等)：  　副首都推進局事業再編担当課長代理  大阪府都市整備部下水道室長、事業課課長補佐、  　大阪市建設局下水道河川部長、調整課長代理 |
| 論点 | ○府市下水道事業の最適化について  （福田隆之　内閣府大臣補佐官との意見交換） |
| 主な意見 | ○コンセッション等の民間活用については、民間に任せるところ、外郭団体に委託するところなど、多様なバリエーションが考えられるため、幅広い視点から検討すべき。  ○民間事業者に対するニーズ調査に当たっては、コンセッションに実際に多く関わっている海外企業や商社などのほか、国内のコンセッションにかかる検討会などの構成企業、空港など他の事業の関連企業などに対し、幅広く意見を聞いてはどうか。  ○今後、他の自治体の委託化が多くなると考えられるが、海外企業だけでなく、わが国における下水道事業のオペレーションを担う事業者を育成するという視点も必要である。  ○また、改築更新事業にかかる国の財源は、特に大都市において厳しくなることが見込まれる中で、これまで以上の大胆な改革が望まれる。  ○こうした中で、大阪や東京といった大都市がコンセッションの導入の検討を打ち出すことは、非常に意義が大きい。 |
| 結論 | 特別顧問、特別参与のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 |  |
| 備考 |  |
| 関係部局  （室課） | 都市整備部下水道室事業課 |